



2020年7月15日

損害保険ジャパン株式会社

SOMPOリスクマネジメント株式会社

## 洋上風力発電事業者向け「ONE SOMPO WINDサービス」の販売開始 ～洋上風力固有リスク評価サービスと包括保険を一気通貫で提供～

損害保険ジャパン株式会社（代表取締役社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン」）と SOMPOリスクマネジメント株式会社（代表取締役社長：桜井 淳一、以下「SOMPO リスクマネジメント」）は、洋上風力発電事業者向けに建設作業から事業運営までのリスク評価およびリスクを包括的に補償する保険をセットで提供する「ONE SOMPO WINDサービス」の販売を2020年7月15日から開始します。

### 1. 背景

地球温暖化対策の国際的な枠組み「パリ協定」が本格始動したことなどを背景に、再生可能エネルギーのひとつとして洋上風力発電が注目されています。日本政府は「第5次エネルギー基本計画」で、2030年度に風力発電全体の導入容量を約10GWにする目標を掲げており、また、洋上風力発電を推進するための「海洋再生可能エネルギー発電設備の整備に係る海域の利用の促進に関する法律」が2019年4月1日に施行されたことなどから、数多くのプロジェクトが計画されています。

一方、数千億円の大規模プロジェクトとなる風力発電事業の安定経営には課題があります。日本における台風や落雷など自然災害の頻発化や、海底ケーブルの重大事故に代表される洋上風力発電固有の事故など、さまざまなリスクにさらされており、欧州や台湾などの洋上風力発電設備や国内の陸上風力発電設備では重大事故が発生しています。洋上風力発電固有のリスクや、立地により特徴が異なる自然災害のリスクを定量的に分析したうえで、リスクマネジメントや保険への転嫁などの対策が不可欠です。

### 2. 「ONE SOMPO WINDサービス」の概要

損保ジャパンとSOMPOリスクマネジメントが、洋上風力発電におけるリスクの把握からその評価、保険手配までを一気通貫で提供し、事業者を支援するものです。

#### （1）リスク評価

SOMPOリスクマネジメントは、日本の洋上風力発電における固有のリスクを評価するために、東京大学（学長：五神 真）との共同研究のもと、リスク評価モデルを開発しました。本リスク評価モデルは、東京大学の最新の研究成果や国内外の研究機関が収集・整備している波浪データ、事故データに加え、保険会社が培ってきた自然災害・構造物に関するリスク分析技術を融合して構築したもので、これまで評価が難しかった日本の洋上風力発電固有のリスク評価が可能です。このリスク評価は、プロジェクトファイナンスの組成や最適な保険設計、再保険の効果的な組成による安定的な補償の提供の一助となります。

特長は以下のとおりです。

①洋上風力発電設備の個別性およびリスク評価

国際的な設計基準や風車の制御方式、立地状況などによる損害の規模・発生頻度等の違いを評価します。洋上風力発電設備における風災、落雷、機械的・電氣的故障による物的損害と、故障・事故時の運転停止に起因する利益損失を作業船の傭船費用<sup>※1</sup>、海象条件による工期の遅れを考慮のうえ、確率的に推定することができます。また、今後、需要が拡大すると見込まれている浮体式洋上風力発電設備のリスクの評価も可能としました。

※1. 事故による修理などでSEP 船等の船舶を手配した際にかかる費用

②建設工事段階のリスク評価

膨大な事故データなどの活用により、事業運営開始後のみならず建設作業中（ケーブル事故含む）のリスクの評価を可能としました。

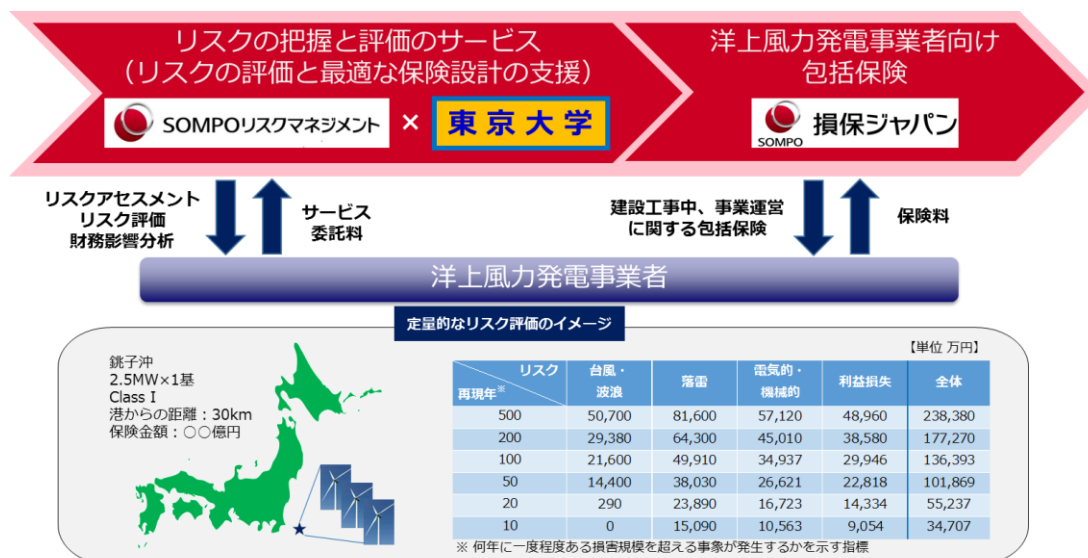
③プロジェクトの収益に与える影響の分析

リスク評価や保険の補償内容を考慮し、故障・事故リスクが事業計画のキャッシュフローに与える影響を定量的にお示します。

(2) 包括保険

損保ジャパンが、国内の洋上風力発電事業者を取り巻くリスクを包括的に補償します。洋上風力発電設備の建設作業に伴うリスク、および完成後の事業運営に伴うリスクを対象とします。補償内容は、風災、落雷などの不測かつ突発的な事故により洋上風力発電設備に損害が発生した場合や建設作業中・事業運営中の事故による賠償責任や逸失利益、設備修理時の傭船費用や撤去費用などを補償するものです。

【サービス概念図】



(注) 受託はSOMPOリスクであり、東京大学はリスク評価モデルの共同研究における連携

### 3. 今後について

損保ジャパンとSOMPOリスクマネジメントは、今後成長が見込まれ、二酸化炭素の排出が極めて少ない洋上風力発電事業の普及を促進することで、持続可能な社会の実現に向けて貢献します。また、洋上風力発電事業を取り巻くステークホルダーに対して、安心・安全・健康に資する最高品質のサービスの提供を目指して商品およびサービスの開発・提供を行っていきます。

以上